

学校名	橋上小学校
授業者	河原 隼人

1. 単元計画

実施した活動内容に基づきご記入ください。

1-1. 単元名

モイカ学習

1-2. 学年

1年・2年・4年・5年・6年（3年生在籍児童無し）

1-3. 教科（単元を実施する教科を全てお書きください）

生活・総合

1-4. 単元の概要

・モイカの一生を観察し、解剖まで行う。観察は、学校の水槽で、卵・幼魚5cm程度までのイカは、学校の水槽で数日間飼育しながら観察する。また、シュノーケリングで柏島を訪れたときには、海に生息しているモイカを観察する。一連の学習の中で、専門的な講師にも、三回指導してもらう。

1-5. 単元設定の理由・ねらい

・年間を通して観察することで、海の生き物についての興味関心を高めると共に、モイカが成長できる海の豊かさについて考え、豊かな環境を守っていくためにできることを考える。

1-6. 育みたい資質や能力、態度

・豊かな海の生き物に親しみ、その生き物が生活できる海の大切さを理解し、その環境を守るために自分達に出来ることを考える。

1-7. 単元の展開（全6時間） 1学期3時間 3学期3時間

時数	学習活動・主な内容	教師の指導 / 主な評価 外部連携 / 使用教材等
1	<p>○モイカについて知ろう</p> <p>講師に来てもらい、説明をしてもらう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・みたことがある。 ・食べたことがある。 ・どこまで大きくなるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・課題を提示し、児童がどれだけ知っているか一緒に話し合いを行う。 <p>評価 知っていることや意見を進んで発表できている。(観察)</p>
2	<p>○モイカの卵を観察しよう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どんな形かな ・触ってみたいな ・どこから生まれるのかな ・どこに産み付けるのかな ・生まれた赤ちゃんはどんな形かな 	<ul style="list-style-type: none"> ・卵を見せる前に、子ども達にどんな形か簡単に絵を書いてもらい興味関心を高める。実際に触ってもらう。水槽に入れたら、どのような変化があれば生まれそうなのかを児童に知らせておき、今後の観察の参考とさせる。 <p>評価 進んで観察できている。(観察)</p>
2	<p>○本時「イカの解剖・イカ拓づくり」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・おいしそう。 ・中はどうなっているのかな。 ・イカ拓はできるのかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教師は、本時の活動の内容を提示し、児童の活動の見守り・助言を行う。 <p>評価 協力してまとめることができている。 (観察・ノート)</p>
1	<p>○振り返り</p>	

2. 学習活動の実際

実施した単元中のキーとなるような時間（導入の時間・主となる活動の時間・まとめの時間など）の学習内容をご記入ください。また、複数の時間についてご記入いただける場合には、この項目をコピーして複数記入していただいて構いません。

2-1. 単元における位置づけ

単元 時間中の 時間目

※例：単元 10 時間中の 2 時間目 / 単元 15 時間中の 4, 5 時間目

2-2. 本時の目標

モイカを解剖することを通して、海の生き物への興味関心を深める。

2-3. 本時の展開

主な学習活動 / 反応	教師の指導・支援 / 評価の視点（方法）
<p><input type="text" value="モイカを解剖してイカ拓をつくろう"/></p> <p>○講師の指導を参考に、各班でイカを解剖する</p> <ul style="list-style-type: none">・どっちが頭？・イカは、どうやって呼吸をするのかな。・これがイカの口なのか。・胃袋の中に、食べられた魚があるね。・墨袋の取り出しは、大変そうだな。・イカ墨は分身、タコは煙幕なのか。 <p>○イカ墨を使ってイカ拓をつくる。</p> <ul style="list-style-type: none">・イカ墨を薄めてもなかなか真っ黒だ。・これで、本当にイカ拓ができるのかな。・はけで塗るのは面白いね。・和紙のうえからイカの体にそって手でおさえるのはおもしろいね。・きれいにイカ拓ができてびっくり。	<p>・各班に教員が一名ついているが、なるべく教員は手を出さないで、児童が行うことを見守る。</p> <p>評価 進んで解剖・イカ拓づくりに参加できている。 (観察)</p>

3. 今回の活動の自己評価

・年間を通してモイカの観察を行っていたので、モイカは身近な海の生き物となっており、解剖もスムーズに行うことができた。また、作ったイカ拓は迫力ある作品ばかりで、子ども達にとって印象深い活動となっただけでなく、海の生き物に対する興味関心を十分に高めることができた。

4. 今後の課題

・解剖用のモイカの確保に課題がある。今回は、地域の方に提供していただき活動を行うことができたが、授業日が決まり次第、鮮魚店等に確保をお願いしておく必要がある。

5. 本学習内容報告書活用にあたっての留意点



※実施した單元ごとに作成してください。

※写真、画像、図表等の使用可。必要に応じて記入欄やページ数を増やしても構いません。

※基本レイアウト

フォント：MS 明朝、10.5 ポイント / マージン：上下端 20mm、左右端 16mm

※ファイル名は「学習内容報告書_学校名」とし、複数提出する場合は学校名の後に数字を記載してください。

例：学習内容報告書_海洋市立パイオニア小学校 1

※年間指導計画（年間の指導計画における単元の位置づけが分かる資料）があれば別添資料として提出してください。フォーマットの指定はありません。